

東大野球部メールマガジン Vol.199

ごあいさつ

秋の気配も次第に濃くなりゆくこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

8日には秋季リーグ戦が開幕し、弊部は対慶應義塾大学戦を終えました。1回戦では初回到岡(2年・外野手・小倉)が3ランホームランを放ち先制しますが、リードを守りきれず敗戦、2回戦では中盤以降に投手陣が崩れ6点差をつけられ敗れる結果となりました。

今週末の対立教大学戦では投打が噛み合い勝利を挙げられるよう、部員一同励んでまいります。

今後とも東大野球部への熱いご声援をよろしくお願いたします。

今後の日程

〈平成30年度 秋季リーグ戦〉@明治神宮野球場

9月15日 立大 11:00 東大 明大 13:30 法大

9月16日 法大 10:30 明大 東大 13:00 立大

9月22日 慶大 11:00 明大 立大 13:30 早大

9月23日 早大 11:00 立大 明大 13:30 慶大

今回の特集 「勝負の秋」

今回の特集は、「勝負の秋」です。リーグ戦第1週の振り返りや、第2週以降に向けての意気込みを語っていただきました。

岩田 昂之 (4年・内野手・国立)

開幕週の慶大戦では、2試合とも悔しい負けではありましたが、ひと夏越えたチームの成長も確かに感じました。オープン戦で完封負けが一度もなく、昇り調子でリーグ戦に入っていたことが良かったと

思います。この流れを勝ちという結果に結びつけて初めて喜ぶことが出来るので、チームとして更に良い準備を重ねてこれからの相手に向かっていきたいと思えます。頑張ろう！



宮村 健太 (4年・学生コーチ・県立前橋)

平素より応援誠にありがとうございます。ついに秋季リーグ戦、ラストシーズンが開幕しました。第1カードを落とし本当に悔しいです。しかし、この秋に向けてやってきたことを出せていることも多く、手応えを感じていることも確かです。春以降、一番練習してきたのは東大だと僕は信じています。あとはどのチームよりも野球を考え、一丸となって勝利を掴みたいと思えます。



新堀 千隼 (3年・内野手・麻布)

第1週は両試合それぞれ4点ずつ取ることが出来、オープン戦からの打線の調子を保ちながらある程度

は力が発揮できたと感じています。守りでは1イニングに複数失点で引き離されることがありましたが、春のように投手陣が粘り強く抑え、投打が噛み合う試合が必ず来ると信じています。次週も良い投手の揃う立大戦ですが、打線が同じような、またはそれ以上の働きが出来るように準備していきたいと考えています。



石元 悠一 (2年・内野手・桐朋)

慶大との開幕カードは2連敗という悔しい結果となってしまいました。ただ、完敗というわけでもなく善戦できているので、自信にしてこれからのリーグ戦も戦っていきたいです。個人としては、出場機会がなく悔しい思いをしたので頑張りたいと思います。



笠原 健吾 (2年・内野手・湘南)

慶大戦は2試合とも悔しい敗戦となってしまいました。1試合目は先制、2試合目は中盤まで同点でしたが、終盤に粘りきれませんでした。しかし、この夏、得点力アップと自滅しない守備を目指してきた中で、

2試合とも4得点、ノーエラーと練習の成果が発揮された部分もありました。

ただ、負けは負けです。立大戦では、必ず1勝、そして勝ち点を取ります。そして新チーム発足以来目標としてきた、最下位脱出を実現します。第2週以降も変わらないご声援をよろしくお願ひします。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「後輩から先輩へ」と題して、後輩から4年生へ、最後に伝えたい気持ちや日頃の感謝、4年生とのエピソードなどを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願ひいたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等
ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。